

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催が少ない。又、内容も状況報告・質疑応答である。	よりよい施設運営が行えるよう建設的な意見が提案されるよう、又、回数も年3回以上を目標としたい。	年間計画として施設の計画の中に取り入れ、早期に各メンバーに伝え調整する。開催にあたっては施設側から議題を提示し、意見を持って参加してもらうよう働きかける。	6ヶ月
2	35	災害対策に於いて、現在年2回の防災訓練を行っているのみである。(外部からの侵入者を防ぐ為にセコムがはいっている)	火災及び避難訓練以外の災害(犯罪者の侵入を含む)を想定し訓練を行う	マニュアルを作製するとともに、年2回以上の訓練を行いたい。	6ヶ月
3	33	緩和ケアのマニュアルや指針はあるが、今までそのようなケースはない。しかしグループホームの機能も多様化しているので、今後このようなケースも出てくると思われる。	その人らしい緩和ケアが提供できるよう研修を行い、意識統一を図る。	指針、マニュアルを職員に浸透させる 緩和ケアの研修の実施 ・毎日のミーティング、ケースカンファレンスの中でも検討していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。